

第1回 STAMP Workshop in Japan 開催報告

SEC調査役 石井 正悟

IPA/SECは、2016年12月5日～7日の3日間、九州大学稲盛財団記念館、九州大学西新プラザにおいて九州大学、有人宇宙システム株式会社 (JAMSS)、一般社団法人組込みシステム技術協会 (JASA)、日本MOT学会と共催で第1回 STAMP Workshop in Japanを開催した。

1 開催の背景



九州大学稲盛財団記念館

MITのNancy Leveson教授が提唱する、システム理論に基づく新しい安全性分析方法論STAMP (Systems-Theoretic Accident Model and Processes)が欧米を中心に産業界で注目されている。IPA/SECもSTAMPに注目しつつ、我が国の産業界に有効なシステム安全性向上手法の調査・検討・普及を行うべく、2015年度にシステム安全性解析手法WGを立ち上げ、活動を進めてきた。欧米では既に毎年STAMPワークショップが開催されているが、日本でも、IPA/SECが今年度立ち上げたシステム安全性・信頼性分析手法WGが主体となり、STAMPに深く関心を持つ九州大学、日本でSTAMPの先駆的な経験・知見を有するJAMSS等と共に、「第1回STAMP Workshop in Japan」を開催することになった。本ワークショップは、日本でのSTAMP普及促進にとって重要なイベントになるとIPA/SECは期待している。

2 ワークショップ概要

初日は九州大学稲盛財団記念館にて、2日目からは九州大学西新プラザに会場を移して実施した。

開催日	時間	プログラム
12/5(月)	午前	キーノートスピーチ：MIT John Thomas
	午後	イントロダクション：九州大学 荒木教授 招待講演 4件
12/6(火)	午前	招待講演 2件 ショート講演 2件
	午後	一般講演セッション 9件
12/7(水)	午前	一般講演セッション 5件

1日目：キーノートスピーチとしてMITのDr. John ThomasによるSTPAチュートリアル(初級)、STPAチュートリアル(中級)、STPAの事例研究を紹介いただいた。Nancy Leveson教授のもとで研究されているSTAMP第一人者であるJohn Thomas氏から直接、長時間にわたるチュートリアルを実施いただき、多くの参加者から感謝の声をいただいた。



九州大学西新プラザ

続けて、STAMP実践に関して日本の第一人者であるJAMSS 星野様の講演など4件の招待講演が行われた。

2日目：STAMPと並び今後の安全性解析に有効性が期待され、またSTAMPとの組み合わせも期待されるレジリエンスエンジニアリングについての2件の招待講演が行われた。JAMSS 野本様による招待講演では、新宿駅コンコース歩行を対象として構築したFRAM (Functional Resonance Analysis Method：機能共鳴分析手法)モデルをSTAMPモデルに対応させるという、新たなSTAMP活用方法が紹介された。その後、ショート講演セッション、一般講演セッションA、B、Cで計11件の発表があった。

3日目：一般講演セッションD、Eで計5件の発表が行われ、クロージングでは次回以降のSTAMP Workshop in Japan開催について議論し、多くの参加者から次回以降の開催を楽しみにしているとのことをご意見をいただいた。

また、SECの事業を中心にIPAで取り組んでいるIoTや組み系に関連する事業の資料配布も実施した。

3 本イベントを振り返って

今回のワークショップは、日本では初開催であり、開催地も首都圏以外であることから参加者数を心配したが結果としては約130名の皆様に参加いただき、STAMPへの関心の高さがうかがえた。また一般講演への応募も多数あったためプログラムを追加し5つのセッション、16件の発表・意見交換の場を持つことができた。

当初2日間と見込んでいた会期を3日間に延長したり、直前になって会場を広い部屋に変更したりするなど、予想を大幅に上回る大盛況であった。日本におけるSTAMPへの関心・期待の大きい盛り上がりを感じ、ぜひ次回以降のSTAMP Workshop in Japanにつなげ、我が国のシステム安全性向上に寄与すべく、STAMP普及・定着を推進したい。



1日目の会場風景

John Thomas氏のチュートリアルを含めた基調講演をはじめ、本ワークショップでの講演資料をIPA/SECのWebサイトで公開しているのでぜひご参照いただきたい。



第1回 STAMP Workshop in Japan IPA/SEC Webサイト
<http://www.ipa.go.jp/sec/events/20161205.html>

- イベント概要、プログラムの紹介
- 講演資料のダウンロードが可能です
- 講演の動画も随時公開予定です